

# 民報あばしり

NO.874

2012.7.8

発行所

日本共産党  
網走市委員会  
網走市北八西三  
四三二四四五八  
F四三二四四五七

## 再稼働／官邸前20万人

「再稼働反対」の熱気が首相官邸をつつみました。6月29日におこなわれた「原発再稼働決定を撤回せよ」の官邸前行動は、関東だけでなく北海道、岩手、福島、福井、長野、佐賀、長崎などからも自主的に人が集まり、主催者は20万人が参加したと発表しました。

大阪、京都、名古屋、熊本などでも連日行動が取り組まれました。この集会は、首都圏反原発連合の有志が呼びかけていたものです。インターネットのツイッターだけでなく、「友人に誘われて親子で来た」「親が参加できないから子どもの私が入った」「前は夫ひとりの参加だったが、今日は親子3人で来た」など、人から人へのつながりが広がっています。

## 南後援会が散策とパークゴルフ・温泉

南後援会は1日、「夏の散策とパークゴルフ」で、弟子屈の900草原に行きました。

この日は、朝から雲ひとつない晴天に恵まれ総勢23名が、午前9時に出発し、途中、清水水峠で休憩し、屈斜路湖を展望。すばらしい眺めを見て目的地へ。午前11時前に到着。ここも雲ひとつない天気、看板に720度展望とありましたが納得です。展望台で記念写真を撮り、温泉組み8人、パークゴルフ組15人に別れて行動しましたが、すばらしい天気と風景に心も身体も癒される一日でした。



弟子屈の900草原にて



## 松浦奮戦モ

今月の16日に「さよなら原発10万人集会」が、代々木公園であります。この集会はノーベル賞作家の大江健三郎さん、作家の落合恵子さん、ルポライターの鎌田慧さんをはじめ著名な9氏が呼びかけ人となって「原発は運転再開せず廃炉にする。持続可能な自然エネルギーを中心としたエネルギー政策の転換を」と訴えて「原発はいらないの声で代々木公園を埋め尽くそう」と呼びかけています。

落合さんは「さよなら原発1000万人アクションでは750万人から署名をいただいた。大飯原発が再稼働してもあきらめない。ひるまない。原発は大本から反対です」と言っています。

首相官邸前の抗議行動が26日に4万5000人、29日が20万人という空前の運動になっています。この動きは、1960年の安保闘争以来の歴史的な出来事ではないでしょうか。私も参加したいですね。

## いよいよ東奔西走

体力づくりのため、妻と早朝、ノルディックウォーキングを開始してから2ヶ月目に入っています。

このところ天気がよく、リズム感よい散歩は早朝の爽やかな風が体の中を駆けぬける感じで、野田民主党政権の公約やぶりと自民・公明の3党談合増税と社会保障改悪にストレス気味の高ぶっている気持ちをさわやかにさせてくれます。コースは自宅脇の新道西山通りの下り、上り往復が主たるコースで、きれいな歩道は散歩する気持ちをもっと高ぶらせる役割を果たしています。

しかし、先日、犬の糞がきれいな歩道にあり気分をそがれました。飼い主が始末しないで投げ捨てた結果です。歩く人もいる芝生のところにも糞がありました。歩道のご真ん中に入ったものは、明らかに飼い主が意図的にさせたものとしか言いようがなく、歩く人への迷惑など何も考えていない行為は許されるものではありません。公約違反を恥じない政治姿勢をはじめ、常識の乱れが横行する今、犬を飼う人も公序良俗（公の秩序と世の中の一般的道徳）の最低限のマナーを守ることが求められるのではないのでしょうか。

## 流水

民主党の分裂が、現実になって解散・総選挙までとりざたされています。民主と自民、公明が「談合政治」を公然とやっつて、野田政権は、国民との公約を投げ捨てました。とうとう自・公の要求を丸のみして「消費税10%」だけを強行、こんな首相は見たことはありませんが、根源をたどれば、どちらの政党も「大企業中心・アメリカいなり」が第一で、国民は二の次、三の次ですから、この政党に政権を握らせればこうなることは自明のことだったかも知れません。それにしても人は変わります。特に政治権力を握ると、自分がこれまで主張してきたことでも180度変えることを、なんとも思わなくなるようです。いまの野田首相は野党の時、1997年の橋本竜太郎首相が「消費税を3%から5%に、医療費を含めて9兆円の国民負担を課したことを」2005年の国会質問でこう言って批判していたのです。「ウソで顔を塗り固めている方が、総理大臣だったころ、消費税を上げ、医療費を引き上げ、定率減税を引き下げて、風邪から治りかけていた日本経済を肺炎にしてしまいました」と。▼今回の「税と社会保障の一体改革」は、20兆円も国民負担をふやすもので9兆円どころではありません。日本経済が肺炎どころか、重症になることをわかって「大企業、アメリカいなり」を強行する民主党政権には、きびしい国民の審判がまついでしょう（兎）